



「藤原の人・自然・文化が好きになり、誇りに思う子どもを育てる」

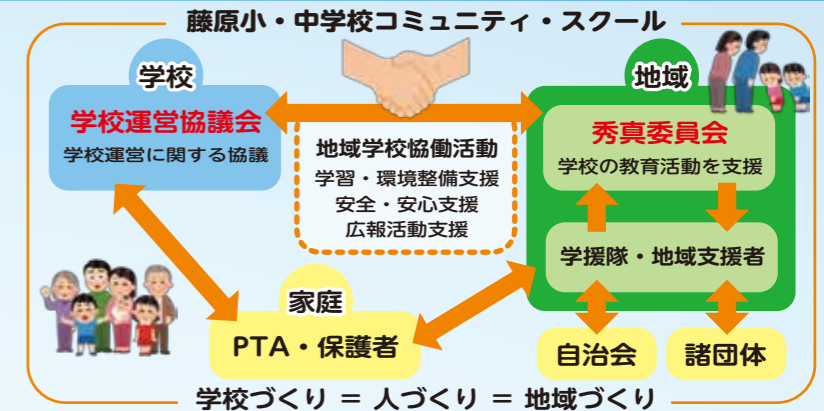
令和4年3月



# ほつま 『秀真委員会』たより 全戸配布版



発行：藤原小・中学校『秀真委員会』



## 〈地域の力を学校へ〉 学び合いワクワクできる地域学校協働活動

## 〈子どもたちの力を地域へ〉

### ★学習支援★

みなさん ご支援 ありがとうございます！

#### 地域学習『藤原学』

「自分たちが住む地域を深く知り、地域のことを広めよう」をテーマに、語り部さんから学びました。



【中里ダム】・【湯立て神事】



【曳山祭り】・【笛の吹き方】



【御厨神社】・【太平洋セメント】



【白瀨城】・【人々のくらしや土産品】



【山村留学】・【水（江戸堤、はなつるべ・ゆ水）】

- 藤原を見つめなおすことができる『藤原学』一人一人が調べ学習に取り組みました。
- 自らの学びを深める『藤原学』子どもたちの疑問に答えていただきました。
- 新しい発見がある『藤原学』地域の語り部さんから子どもたちに、知っておいてほしい事柄を教えていただきました。

#### 子どもたちのまとめより

大昔に坂本村と大貝戸村があったというのが、特にぼくの心に残りました。それから祭りに使う山車は、家の屋根にぶつかるから15cmずつ切ってぶつからないようにしたり、すごくいい素材でつくったりしているところにもびっくりしました。「江戸時代から祭りが始まっていて、そこから現代まで続いている。」それが、西藤原の誇りだと思いました。この長い歴史に傷をつけないように、未来へ伝えたいと思いました。

山村留学制度をつくるには、多くの会議が開かれていたことを知りました。それだけ課題が多かったことがわかりました。次に山村留学によっていろいろと地域が変化してきました。まず、下水道の整備。全員のはんをもらってやっつくことができました。これは、三重県で1番の下水道。そして、気持ちの変化。新しい人が来たことで、互いの視野や考えが広がりました。どんな人でも受け入れるところは今も残っています。最後に、現在。立田の家のうち、25%が移住してきた人です。これは田舎だととても高いです。これからどんどん移住してくる人を受け入れたいです。

### ★教育環境整備支援★

私たちにできることを！

#### 図書室整備

本年度、新しくスタートした図書室整備ボランティア。児童・生徒が、利用しやすく、本を読んでもたくなるような図書室環境にすることを目標に毎月1回のペースで活動していただいています。



#### 環境整備

保護者・地域のみなさんが、子どもたちのために、貴重な時間を活用して、環境整備を行っていただいています。おかげで子どもたちは、安心して学校生活を送ることができます。



#### 体験活動

畑や田んぼの土作り、作付け、除草、水の管理など多くの仕事をしていただき、美味しい作物を収穫することができました。

#### 米作り



稲刈り

#### サツマイモ栽培



焼き芋

#### 大豆栽培



脱穀



### ★藤中生徒会からの発信!★

藤中が地域を変えます！

SDGs 取り組みを理解し、行動に移し、広めます！



『服のカプロジェクト』では、2550枚の服が集まりました。藤原の人たちの想いをのせて、難民の子どもたちに届きます。ご協力ありがとうございました。

挨拶 今よりも挨拶が自然にとびかう地域づくりを進めます！

#### 藤中生徒会方針【挨拶】より

挨拶は藤原全体を繋げてくれます。挨拶は人と人とを繋ぐ魔法の行動です。ただ声に出すだけではなく、気持ちも挨拶モードに切り替えて、もっと気持ちのいい挨拶のできる明るい学校を目指します。



#### ボランティア募集中

できる人が できる時に 無理なく 学校支援活動にご協力下さい。

教育環境整備・学習や登下校の見守り・野菜づくり・米づくり等

保護者のみなさん、地域のみなさん、どうぞよろしくお願ひします。

お問合せ  
小学校 Tel 46-3600  
中学校 Tel 46-2025  
コミュニティ・スクール推進事務局  
Tel 070-2638-7291

